




事業実施報告書詳細

①事業実施報告書詳細

事業実施報告書詳細

総社市立池田小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2	教室	<ul style="list-style-type: none"> 写真を見て、意見を出し合う。 写真を撮って、地区のよいところを紹介する。 		<p>「写真でよいところがわかる」「写真で移り変わりがわかる」など、写真のよさに気づく意見が多く出た。</p> <p>「よさを発信していきたい。」という前向きな声が出た。プログラムとは別に、これまでの経験からか、新聞を作って紹介したいという声もあがった。</p>
3	(家庭学習等で) 教室 コンピュータ室	<ul style="list-style-type: none"> 写真を撮ってくる。(撮れない人は絵で) 写真や新聞で地区のよさを発信できるようにする。 		<p>「どこを撮ったらいいだろう」、「あれを撮ろう」など、悩む子、すぐに決める子に分かれた。</p> <p>撮ってきた写真を元に、コメントを考えて、プリントアウトしたものに書き込んだり、新聞にしたりと意欲的であった。</p>
2	教室	<ul style="list-style-type: none"> 作った新聞や、印刷した写真を教室のみんなに紹介する。 		<p>「知ってる」、「へえー」、「具体的で分かりやすい」、「もっとコメントを長くしたらどう」など、感心したり、手直しをした方がよいところなどが出れたり子どもらしいさまざまな声が聞かれた。</p>

学習指導案

②学習指導案（計画段階の指導案。（修正版でも可））

指導にあたり作成された書類で、下記の項目が含まれているもので構いません。

様式は不問。下記は一例。その他授業実施に作成された資料等添付してください

学習指導案（計画段階の指導案）〈様式不問…例〉

単元名 (全 時間)	わたしたちの住んでいる地区のよさを発信しよう
学習のねらい	自分の住んでいる地区に誇りを持ち、景観のすばらしさ等を表現できる子ども もの育成を図る。
学習内容	1 写真を見せ、よさに気づかせる。自分もしてみたいという意欲を持たせる。 2 家の人と相談しながら、写真を撮ったり、絵を描いたりする。 3 よさを紹介するように言葉をそえる。 4 作った物を発表する。
参考資料 準備品 実施場所等	・景観まちづくり学習モデルプログラム ・写真（地区のよさや移り変わりがわかるもの） ・教室、パソコン室、（掲示は全校や来校者にもわかるようにする。）

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	・写真を見て、意見を出し合う。	・写真を見て、分かったこと、気づいたこと、思ったことを自由に 言わせる。	・もっとさりげない 写真を使った方が よかった。
1	・写真を撮って、地区のよいと ころを紹介する方法を考える。	（・家族の協力を得て、写真を撮 らせる。） ・簡単な紹介方法を考える。	（ ）は、時間外 ・表現方法を子ども に考えさせた。
3	写真や新聞等で、よさを発信で きるようにする。	・写真を拡大したり、コンピュー タを使って新聞にしたりと、読み 手を意識させる。	・市のコンピュー タ入れ替えで、時 期が大幅にずれて しまった。
2	・作った新聞や、印刷した写真 を教室のみんなに紹介する。	・住んでいる地区のよさを改めて 感じさせる。 ・表現力をつける。	・当初予定してい た参観日での発表 ができなかったが、 よさに気づいた。

〈留意点〉 行政の方のアドバイスや、地区の方への掲示や発信をさらに工夫する。

実施内容について

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>住んでいるまちに愛着をもてるように、よさを大切にした。</p> <p>国語の単元「ようこそ わたしたちの町」の学習とも関連づけるようにした。</p> <p>実施時期を大きく2つに分けた。それは、国語の単元が6月にあることと、10月下旬の稲刈りの頃には、多くのかかしがまちの風物詩になったり、紅葉で有名な景勝地豪渓も活用したりできると考えたことからである。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>国語の単元「ようこそ わたしたちの町」の学習とも関連づけるようにしたが、ちょうどこの時期から市のコンピュータの入れ替えがはじり、計画を立てたが実際にコンピュータでまとめるまでの期間が空いてしまった。</p> <p>また、時期がずれてしまったことで、さまざまな行事と重なっての活動になってしまったので、この学習だけに集中することが難しく、子どもの意識がやや薄れてしまった。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>改めて住んでいる地区のよさに気づくことができた。</p> <p>自分の住んでいる地区のよさを写真を通して発信できることを知ったことは、今後活動したこと発信する時に役立つ手立てとなった。</p> <p>新しいコンピュータ機器を利用し、情報を発信することを楽しんでいった。</p> <p>発表を通して、自信をつけている子どもも多かった。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>担当教諭も知らない地区のよさがあり、改めて勤務校区のすばらしさを感じた。</p> <p>子どもは、既習の情報発信を使おうとするので、担当教諭が多くのモデルを示し、選択肢を増やすことで、子どもの学習意欲も変わってくることに気づいた。</p> <p>景観まちづくりという学習プログラムがあることを知り、取り組んでみたいと考えられた教諭もいた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>ある程度まとまった時期に実施した方が、児童の意欲は持続しやすい。</p> <p>また、当初予定していた行政の方からのアドバイスがなかなか実施できず、発表の場も予定していた参観日で無くなってしまったので、コンピュータの入れ替えがあつたとしても、計画をもっと早めに実施していたらよかった。</p> <p>地区を学習している3年生の写真を見て、今後活動するときに、協同学習も考えられる。</p>